



# 教 育 計 画

三草会札幌看護専門学校 第3期生

# 目 次

1. 教育理念	-----	P 1
2. 期待する卒業生像、教育目的・目標	-----	P 2
3. 学年別到達目標	-----	P 3～4
4. 教育課程	-----	P 5
5. 教育課程進度表	-----	P 6
6. 3年間の科目時間配分	-----	P 7～8
7. カリキュラム構成図、カリキュラムデザイン	-----	P 9
8. 教科外活動	-----	P 10
9. 教科外活動の目的	-----	P 11
10. 科目の授業構成図	-----	P 12～19
11. 科目進度計画表	-----	P 20～24
12. 学内実習・演習進度表	-----	P 25
13. 看護技術マトリックス	-----	P 26
14. 年間臨地実習計画表	-----	P 27
15. 分野別実習単位・時間・実習施設	-----	P 28
16. 学年年間計画	-----	P 29
17. 年間行事予定一覧表	-----	P 30
18. 学校運営組織図	-----	P 31～32
19. 教職員公務分掌	-----	P 33
20. 領域別看護学担当教員及び業務マトリックス	-----	P 34
21. 入学者出身校状況	-----	P 35
22. 入学者状況	-----	P 36

## 教育理念

三草会は「あることの尊さへのアプローチ(一緒に治る喜びを分かちあおう)」が基本理念である。理念の核は「人間の尊厳」と「人間愛」である。「人間の尊厳」とは人としての尊厳を重んじ、生命を尊び個人の価値観・権利を尊重する事である。

「人間愛」とは豊かな感情体験の中で人を愛する思いやりの心、他者の痛み苦しみに寄り添い慈しみ、あたかも自分の事のように感じられる優しい心をもつ事である。

この2つの精神を基盤とし社会医療法人と社会福祉法人の2つを併せ持つ三草会は、健康であっても、障害があっても、一人の人間として個人の生活に着眼し、疾病の予防、健康の維持増進、健康回復のために保健・医療・福祉が連携・協働しあい、それぞれの役割機能を発揮し、心を合わせて一体化となり、人々の幸福と健康的な生活の向上を目指して社会貢献している。

以上から三草会の「人間の尊厳」と「人間愛」の理念を基盤とし、三草会札幌看護専門学校は教育理念を

「人間の尊厳と人間愛の精神が学生一人ひとりに根つき、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」とする。

学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた信頼関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

## 期待する卒業生像

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力が養われている。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性に育ち、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力が養われている。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身についている。

## 教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

## 教育目標

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力を養う。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身につく

## 学年別到達目標

### 教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標	1年次到達目標	2年次到達目標	3年次到達目標
1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人体の構造と機能が理解できる</li> <li>2) 精神の発達と機能が理解できる</li> <li>3) 人間の社会的側面を理解することができる</li> <li>4) ライフステージにおける発達課題を理解することができる</li> </ol>	人間の身体的・精神的・社会的な側面の関連を考えることができる	人間は身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる
2 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護技術には原理・原則があり安全・安楽に実施する必要性を理解できる</li> <li>2) 看護過程の思考が理解できる</li> <li>3) 理論の活用必要性がわかる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる</li> <li>2) 基本的な看護過程を展開できる</li> <li>3) 理論を活用することで論理的思考を高める</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護技術を対象の個別性に合わせて応用できる</li> <li>2) あらゆる対象に看護過程を展開できる</li> <li>3) 論理的に表現できる</li> </ol>
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係が築ける	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他者の考えを受け入れながら自己の考えも伝えることができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他者を受容し、状況に合わせた言動がとれる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 多様な価値観を受け入れ、対人関係を築ける</li> </ol>
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力を養う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健・医療・福祉の概念が理解できる</li> <li>2) 保健・医療・福祉チームの一員として行動することの自覚がもてる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健・医療・福祉チームの連携・協働を理解することができる</li> <li>2) 保健・医療・福祉チームの中の一員として看護師の役割と責任を認識できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 保健・医療・福祉チームの中で連携・協働の実際を通して看護師としての自覚を高め、責任ある行動がとれる</li> </ol>

教育目標	1年次到達目標	2年次到達目標	3年次到達目標
<p>5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる</p>	<p>1) 看護倫理の重要性が理解できる</p>	<p>1) 看護職に必要な倫理に従って規律ある行動がとれる 2) 看護者のあり方について自分なりの考えをもつことができる</p>	<p>1) 看護倫理に従って常に規律ある行動がとれる 2) 自己の看護観を述べられる</p>
<p>6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身につく</p>	<p>1) 主体的に学習し自己の課題を解決するための行動がとれる</p>	<p>1) 自己の課題を解決するために主体的、継続的に学習することができる</p>	<p>1) 常に自己の課題に取り組む、継続して学習する姿勢が身についている</p>

三草会札幌看護専門学校 教育課程 別表第1号

	科目	単位数	時間数		計	備考
			講義	実習		
基礎分野	看護物理学	1	30		30	
	論理学	1	30		30	
	国語表現法	1	15		15	
	英語 I	1	30		30	
	英語 II	1	30		30	
	情報科学と統計	1	30		30	
	心理学	1	30		30	
	コミュニケーション	1	30		30	
	文化人類学	1	30		30	
	倫理学	1	30		30	
	音楽と表現技法	1	30		30	
	社会学	1	30		30	
	教育学	1	30		30	
	小計	13	375		375	
専門基礎分野	解剖生理学 I	1	15		15	
	解剖生理学 II	1	30		30	
	解剖生理学 III	1	30		30	
	解剖生理学 IV	1	30		30	
	病理学総論	1	15		15	
	生化学	1	30		30	
	栄養学	1	15		15	
	人の生活と食事	1	15		15	
	薬理学	1	30		30	
	臨床検査	1	15		15	
	微生物学	1	30		30	
	病態と治療 I	1	30		30	
	病態と治療 II	1	30		30	
	病態と治療 III	1	30		30	
	治療法概論	1	30		30	
	総合医療論	1	30		30	
	社会福祉	1	30		30	
	地域医療論	1	15		15	
	関係法規	1	30		30	
リハビリテーション	1	15		15		
公衆衛生学	1	15		15		
小計	21	510	0	510		
専門分野 I	基礎看護学					
	看護学概論	1	30		30	
	共通援助技術	1	15		15	
	生活援助技術 I	1	30		30	
	生活援助技術 II	1	30		30	
	生活援助技術 III	1	30		30	
	フィジカルアセスメント技術	1	30		30	
	診療援助技術	1	30		30	
	看護展開技術	1	30		30	
	生活援助技術実践	1	30		30	
	臨床看護総論	1	30		30	
	看護研究	1	30		30	
	臨地実習					
基礎看護学実習 I	1		45	45		
基礎看護学実習 II	2		90	90		
小計	14	315	135	450		
専門分野 II	成人看護学					
	成人看護学総論 I	1	15		15	
	成人看護学総論 II	1	30		30	
	成人看護学方法論 I	1	30		30	
	成人看護学方法論 II	1	30		30	
	成人看護学方法論 III	1	30		30	
	成人看護学方法論 IV	1	30		30	
	老年看護学					
	老年看護学総論 I	1	15		15	
	老年看護学総論 II	1	30		30	
	老年看護学方法論 I	1	30		30	
	老年看護学方法論 II	1	30		30	
	小児看護学					
	小児看護学総論 I	1	15		15	
	小児看護学総論 II	1	30		30	
	小児看護学方法論 I	1	30		30	
	小児看護学方法論 II	1	30		30	
	母性看護学					
	母性看護学総論 I	1	15		15	
	母性看護学総論 II	1	30		30	
	母性看護学方法論 I	1	30		30	
	母性看護学方法論 II	1	30		30	
	精神看護学					
	精神看護学総論 I	1	15		15	
	精神看護学総論 II	1	30		30	
	精神看護学方法論 I	1	30		30	
精神看護学方法論 II	1	30		30		
臨地実習						
成人看護学実習 I	2		90	90		
成人看護学実習 II	2		90	90		
成人看護学実習 III	2		90	90		
老年看護学実習 I	2		90	90		
老年看護学実習 II	2		90	90		
小児看護学実習	2		90	90		
母性看護学実習	2		90	90		
精神看護学実習	2		90	90		
小計	38	585	720	1305		
統合分野	在宅看護論					
	在宅看護論総論 I	1	15		15	
	在宅看護論総論 II	1	30		30	
	在宅看護論方法論 I	1	30		30	
	在宅看護論方法論 II	1	30		30	
	看護の統合と実践					
	看護管理	1	30		30	
	安全教育	1	15		15	
	災害看護	1	15		15	
	看護技術統合実践	1	30		30	
	臨地実習					
在宅看護論実習	2		90	90		
看護統合実習	2		90	90		
小計	12	195	180	375		
総計	98	1980	1035	3015		

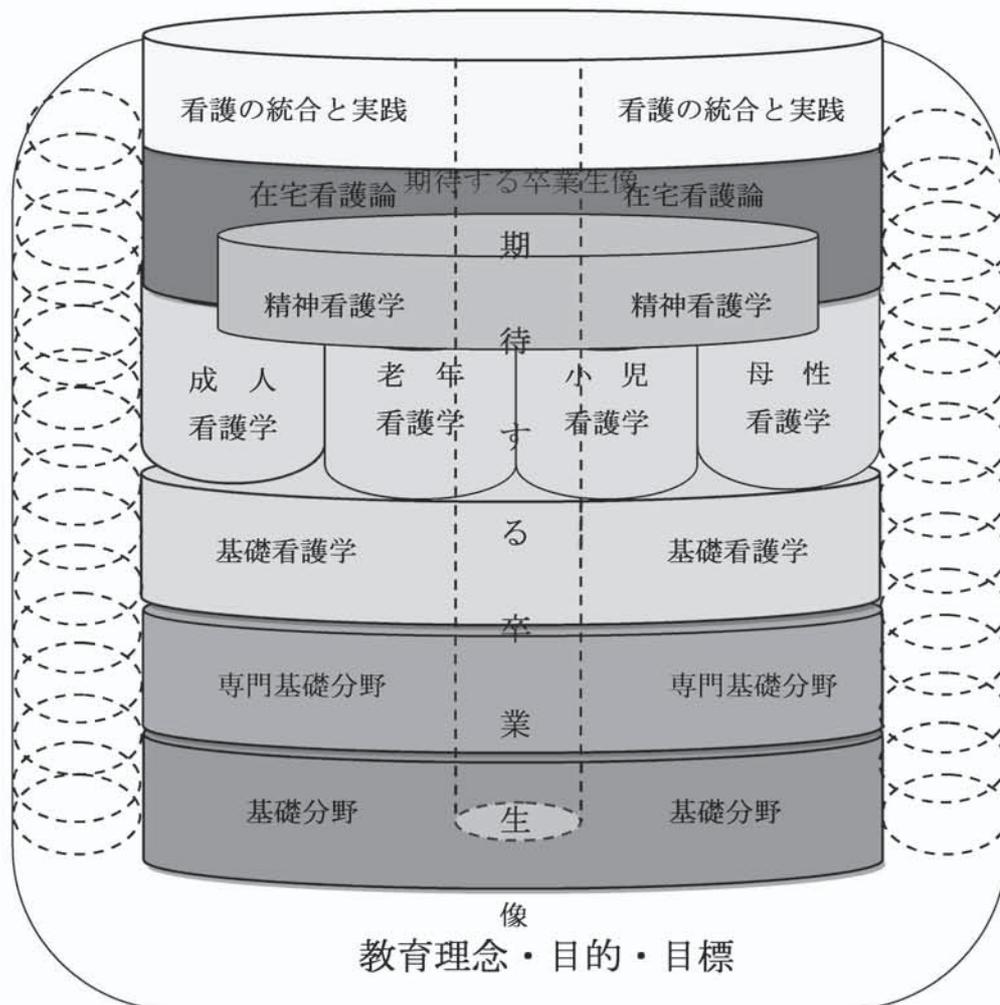


### 3年間の科目時間配分

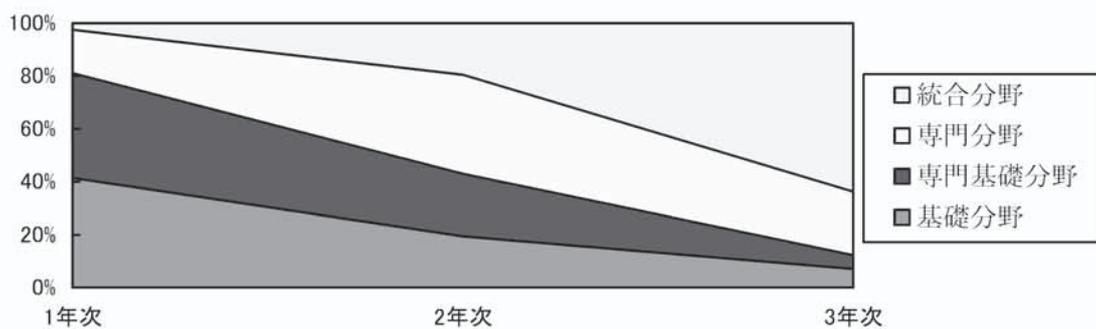
教育内容		基準 単位	科目名称	単位	年間授業時間数			
					1年次	2年次	3年次	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	13	1 看護物理学	1	30			30
			2 論理学	1		30		30
			3 国語表現法	1	15			15
			4 英語 I	1	30			30
			5 英語 II	1		30		30
			6 情報科学と統計	1		30		30
			7 心理学	1	30			30
			8 コミュニケーション	1	30			30
			9 文化人類学	1	30			30
			10 倫理学	1	30			30
			11 音楽と表現技法	1	30			30
			12 社会学	1	30			30
			13 教育学	1			30	30
	<b>13</b>		<b>小計</b>	<b>13</b>	<b>255</b>	<b>90</b>	<b>30</b>	<b>375</b>
専門基礎分野	人体の構造と機能	15	14 解剖生理学 I	1	15			15
			15 解剖生理学 II	1	30			30
			16 解剖生理学 III	1	30			30
			17 解剖生理学 IV	1	30			30
			18 病理学総論	1	15			15
			19 生化学	1	30			30
			20 人の生活と食事	1	15			15
	疾病の成り立ちと 回復の促進		21 栄養学	1	15			15
			22 薬理学	1	30			30
			23 臨床検査	1		15		15
			24 微生物学	1	30			30
			25 病態と治療 I	1	30			30
			26 病態と治療 II	1	30			30
			27 病態と治療 III	1		30		30
健康支援と 社会保障制度	28 治療法概論	1		30		30		
	29 総合医療論	1			30	30		
	30 社会福祉	1		30		30		
	31 地域医療論	1		15		15		
	32 関係法規	1		30		30		
	33 リハビリテーション	1	15			15		
	34 公衆衛生学	1	15			15		
	<b>21</b>		<b>小計</b>	<b>21</b>	<b>330</b>	<b>150</b>	<b>30</b>	<b>510</b>
専門分野 I	基礎看護学	11	35 看護学概論	1	30			30
			36 共通援助技術	1	15			15
			37 生活援助技術 I	1	30			30
			38 生活援助技術 II	1	30			30
			39 生活援助技術 III	1	30			30
			40 フィジカルアセスメント技術	1	30			30
			41 診療援助技術	1	30			30
			42 看護展開技術	1	30			30
			43 生活援助技術実践	1	30			30
			44 臨床看護総論	1	30			30
	45 看護研究		1			30	30	
臨地実習	3	46 基礎看護学実習 I	1	45			45	
		47 基礎看護学実習 II	2		90		90	
	<b>14</b>		<b>小計</b>	<b>14</b>	<b>330</b>	<b>90</b>	<b>30</b>	<b>450</b>

教育内容		基準 単位	科目名称	単位	年間授業時間数				
					1年次	2年次	3年次	合計	
専門分野Ⅱ	成人看護学	6	48	成人看護学総論Ⅰ	1	15			15
			49	成人看護学総論Ⅱ	1	30			30
			50	成人看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			51	成人看護学方法論Ⅱ	1		30		30
			52	成人看護学方法論Ⅲ	1		30		30
			53	成人看護学方法論Ⅳ	1		30		30
	老年看護学	4	54	老年看護学総論Ⅰ	1	15			15
			55	老年看護学総論Ⅱ	1	30			30
			56	老年看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			57	老年看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	小児看護学	4	58	小児看護学総論Ⅰ	1	15			15
			59	小児看護学総論Ⅱ	1		30		30
			60	小児看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			61	小児看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	母性看護学	4	62	母性看護学総論Ⅰ	1	15			15
			63	母性看護学総論Ⅱ	1		30		30
			64	母性看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			65	母性看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	精神看護学	4	66	精神看護学総論Ⅰ	1	15			15
			67	精神看護学総論Ⅱ	1		30		30
			68	精神看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			69	精神看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	臨地実習	6	70	成人看護学実習Ⅰ	2		90		90
			71	成人看護学実習Ⅱ	2		90		90
			72	成人看護学実習Ⅲ	2			90	90
		4	73	老年看護学実習Ⅰ	2		90		90
			74	老年看護学実習Ⅱ	2			90	90
2		75	小児看護学実習	2			90	90	
2		76	母性看護学実習	2			90	90	
2		77	精神看護学実習	2			90	90	
	<b>38</b>		<b>小計</b>	<b>38</b>	<b>135</b>	<b>720</b>	<b>450</b>	<b>1305</b>	
統合分野	在宅看護論	4	78	在宅看護論総論Ⅰ	1	15			15
			79	在宅看護論総論Ⅱ	1		30		30
			80	在宅看護論方法論Ⅰ	1		30		30
			81	在宅看護論方法論Ⅱ	1		30		30
	看護の統合と実践	4	82	看護管理	1			30	30
			83	安全教育	1			15	15
			84	災害看護	1			15	15
			85	看護技術統合実践	1			30	30
	臨地実習	4	86	在宅看護論実習	2			90	90
			87	看護統合実習	2			90	90
	<b>12</b>		<b>小計</b>	<b>12</b>	<b>15</b>	<b>90</b>	<b>270</b>	<b>375</b>	
<b>合計</b>	<b>98</b>		<b>合計</b>	<b>98</b>	<b>1065</b>	<b>1140</b>	<b>810</b>	<b>3015</b>	

## カリキュラム構成図



## カリキュラムデザイン



	1年次	2年次	3年次
基礎分野	68%	24%	8%
専門基礎分野	65%	29%	6%
専門分野	27%	46%	27%
統合分野	4%	24%	72%

カリキュラムデザインは授業進度が、基礎分野、専門基礎分野の進行とともに専門分野 I をはじめ看護学の比重が多くなる漸進型カリキュラムである。

## 教科外活動

	1年生	時間	2年生	時間	3年生	時間
4月	入学式	8	実習ガイダンス	8	実習ガイダンス	8
	入学ガイダンス	8	新入生歓迎会	2	新入生歓迎会	2
	新入生歓迎会	2	実習激励会	2	健康診断	5
	実習激励会	2	健康診断	5	実習激励会	2
					看護研究聴講	8
5月	看護の日	2	看護の日	2	看護の日	2
	健康診断	5	実習報告会	4		
	避難訓練	2				
	札幌医科大学 標本館見学	4				
6月	遠足	8	遠足	8		
7月						
8月	戴帽式総練習	4	実習激励会	2		
	戴帽式	4				
	実習激励会	2				
	実習ガイダンス	8				
9月	実習報告会	4	実習ガイダンス	8		
10月	消火訓練	2				
11月			実習報告会	4	実習ガイダンス	8
12月						
1月						
2月	実習ガイダンス	8			看護師国家試験	8
	実習報告会	4				
3月	予餞会	2	予餞会	2	予餞会	2
	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2
	卒業式	4	卒業式	4	卒業式練習	8
					卒業報告会	4
					卒業式	8
小計	85	時間	53	時間	67	時間
総計	205 時間					

## 教科外活動の目的

1. 学年の枠を超えて、価値観の多様性に触れ、望ましい人間関係を形成するために必要な能力を育成する。
2. 組織・集団の一員であるという自覚をもち、責任ある行動、調整力を育成する。

項 目	目 的
入学式	看護を学ぶための出発点とし、看護者になる自覚をもつ
入学ガイダンス	看護基礎教育の目指すものを理解し、新しい環境に適応できるようにする 学校生活が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 学校の教育方針と学生の教育態度の確認 ② 学習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 授業に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる ⑤ 学生同士、教員同士、学生と教員の人間関係の場
新入生歓迎会	新一年生の先輩として、教員とともに歓迎交流の会とする
実習激励会	学生個々が臨地実習の目標達成を願い、学生相互の激励の場とする
健康診断・血液検査・胸部レントゲン撮影	学生の健康状態を把握し、学生個々が健康管理の重要性を自覚する
防火訓練	災害時の対処方法を学び、安全に対する知識と関心を深め事故防止に努める
遠足	学生・教員間の交流を深め、集団生活のあり方を学ぶ
看護の日	地域でのボランティア活動を通して地域住民、仲間とのつながりを実感する
戴帽式練習 戴帽式	看護に対する学びの姿勢を整え、看護の精神を受け継ぐ動機づけの場とする
看護協会研究発表聴講	① 北海道看護職員の活動の実際に参加することで、自己における専門職としての意識向上をはかる ② 看護研究に役立てる
札幌医科大学標本館 見学	歴史ある医療に関する標本を見学することで、解剖生理学他基礎知識を深める
実習ガイダンス	実習が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 実習の目的と学生の教育態度の確認 ② 実習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 実習に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる
実習報告会	実践した看護を振り返り自己課題を明確にし、看護観を確立していく
予餞会	卒業前に卒業生に対して旅立ちを祝う会
卒業特別講演	社会的視野を広げ教養を深めるとともに、広い視野から看護を考える機会とする
卒業式練習	卒業式が滞りなく終了するよう練習を行う
卒業式	看護基礎教育の全課程修了者に証書授与し認定する 卒業生は看護基礎教育の修了者であることの自覚を高める 在校生は卒業生を祝い、思いやりの心を養う